

2020年1月6日企画委員会

「京セラの文化施設見学と鳥羽界限を歩く」



京セラ本社

京セラ株式会社は、京都府京都市伏見区に本社を置く電子機器、情報機器、通信機器、セラミック、医療用製品関連の、国内大手企業である。世界をリードする京セラの本社・文化施設を訪問し、その製品群と多角化を進めるアメイバー経営哲学・稲森京セラフィロソフィを学びます。また城南宮・神苑で枝垂れ梅・椿に春を訪ね、950年前の院政の故地、鳥羽離宮跡を巡ります。

開催日時: 令和2年(2020年)2月28日(金)9:30~15:00

前日の17時発表の気象庁天気予報で「京都南部」の降水確率が50%以上で中止

集合場所: 近鉄京都線、京都市営地下鉄「竹田」駅北側改札口 西側駅前広場

9:30集合(時間厳守の事)

解散は15:00頃 竹田駅

見学内容: 午前:京セラ本社・文化施設 (【 稲盛ライブラリー 】【 京セラファインセラミック館 】
【 京セラギャラリー(旧・京セラ美術館改め) 】)

午後:城南宮・神苑 (しだれ梅、椿観賞)

京都史跡ガイドボランティア協会ガイドによる「白河・鳥羽院政の地」の散策

費用: ・ボランティアガイド費用 城南宮・神苑入場料は自然と文化科で負担する。

参加者の参加費用はいりません。

行程: 9:30 竹田駅集合時 A 班(1, 2 班)、B 班(3, 4 班)に分かる。企画担当委員の案内で京セラに移動(25分徒歩)。

10:00 京セラ見学 A 班は本社京セラギャラリーから、B 班は稲盛ライブラリー館から
見学。所要時間(3施設で)2時間、案内は京セラ文化施設部の担当員。

12:00 京セラ見学後企画担当委員の案内で鳥羽離宮公園に移動(15分) 昼食

13:00 1班、2班、3班、4班に分かれて集合。京都史跡ボランティアガイドの紹介後

班別にボランティアガイドの案内で鳥羽離宮、城南宮・神苑、白河天皇陵、鳥羽天皇陵、近衛天皇陵、鳥羽離宮の面影の偲ばせる安楽寿院等を見学。

15:00 竹田駅で班毎に流れ解散。

持ち物： 昼食、飲み物、雨具、防寒具等

参加申込み：参加人数把握のため 参加希望者は1月17日(金)までに、各班企画幹事に
申し込みください。

【 行 程 図 】



以 上

【参 考】

(1) 京セラ文化施設

京セラファインセラミック館



創業以来京セラが開発してきた製品を展示し、ファインセラミックスの特長や用途、技術開発の歴史を説明する。

稲盛ライブラリー



創業者・稲盛和夫の人生哲学、経営哲学を中心に、技術者、経営者としての足跡を展示



京セラギャラリー ピカソの銅版画、現代日本画、中国清朝の乾隆ガラスを常設展示



(2) 城南宮

「方除の大社」として知られている。白河天皇の鳥羽離宮(城南離宮)造営に際し、離宮の鎮守社とした。代々の天皇や上皇の行幸がしばしばあった。また後代になると京都御所の裏鬼門を守る神となったことから貴族の方違の宿所となり、方除けや厄除けの神としても信仰されるようになった。

新政府軍の掲げる錦の御旗の前に旧幕府軍が総崩れとなった慶応4年(1868年)の鳥羽・伏見の戦いの主戦場となったものこの地である。

近年では転居、旅行の厄除けから転じて交通安全の神としても広く信仰されており、毎年7月には自動車の茅の輪くぐりが行われる。

城南宮神苑

社殿の西に広がる「春の山」では、150本のしだれ梅がうすべに色や紅白の花を装い、春の訪れを告げる。神苑入口から春の山、さらに平安の庭にかけて300の椿が次々に花開く。

12月から咲き始める中輪白色の「初嵐」、大輪の「曙」、愛らしい真紅の藪椿「城南椿」など。



城南宮神苑

(3) 鳥羽離宮

鳥羽離宮は、12世紀から14世紀頃まで代々の上皇により使用されていた院御所。

鳥羽殿・城南離宮とも呼ばれる。場所は京都市南区上鳥羽、伏見区下鳥羽・竹田・中島の付近で、朱雀大路の延長線上にあった。

かつての鳥羽離宮の中には、現在わかっているだけでも、東殿、南殿、北殿、馬場殿、泉殿、田中殿の6ヶ所の御所と5ヶ所の寺院が建立され、それぞれ庭園があった。



鳥羽離宮跡復元図

このうち、鳥羽離宮の面影をしのばせるところは、離宮跡の東側、かつての東殿跡にあたる安楽寿院・北向不動院周辺と、離宮跡の西南部分にあたる現在の「鳥羽離宮跡公園」「史跡鳥羽殿跡」という説明板の空地がある。

白河上皇は後の南殿、東殿を建設し、邸内に自らの墓所として三重の塔を中心とした**安楽寿院**を造営する。鳥羽離宮内の他の御所や仏堂が跡形もなく滅びた中であって**安楽寿院のみが**(建物は近世以降の再建であるが)、21世紀の今日まで法灯を伝えている。

境内に接して鳥羽天皇と近衛天皇の陵がある。幕末の鳥羽伏見の戦いの際、この地に官軍の大本営が置かれた。



安楽寿院大師堂

以上